

INON

イン 外部オート非対応・-0.5[4900K]拡散板 2

イン 外部オート非対応・-0.5[4600K]拡散板 2

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

弊社ストロボ「Z-240」/「D-2000W」/「D-2000Wn」/「D-2000」/「D-2000S」/「Z-220F」/「Z-220S」/「Z-220」に装着し、ストロボ光の色温度を 5500K→4900K、あるいは 5500K→4600K に下げつつ、照射角度を 110° に広げる拡散板です。S-TTL 自動調光モード、TTL 自動調光モード、マニュアル+TTL 自動調光モード、マニュアルモードにて使用可能です。

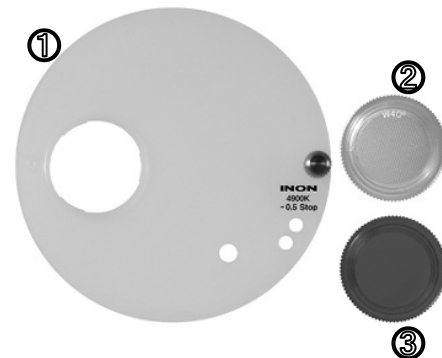
本拡散板は、「Z-240」、「D-2000W」、「D-2000Wn」、「D-2000」、「D-2000S」、「Z-220F」、「Z-220S」、及び「Z-220」専用オプションとなります。「D-180」、及び「D-180S」ではご使用頂けません。また、本製品を取り付けた「Z-240」、「D-2000W」、「D-2000Wn」、「D-2000」では、外部自動調光モードを使用する事は出来ません。

製品の主な特徴

- 外部オート非対応 -0.5[4900K]拡散板 2 は、ストロボの色温度を 5500K から 4900K に下げます。
- 外部オート非対応 -0.5[4600K]拡散板 2 は、ストロボの色温度を 5500K から 4600K に下げます。
- 装着する事で、照射角が広がると同時に(円形配光 100° →110°)、光質をソフトにする事が可能です。
- フライアインズ構造で、ストロボ内蔵フォーカスライトの照射範囲を効率よく広げる『W40° フィルター・LE』、および、ストロボ内蔵フォーカスライトの色調を変換して、光に繊細な生物へのアプローチを容易にする『赤フィルター・LE』を同梱。用途に応じて、自由に切り替え可能です。

製品内訳

- ・ 外部オート非対応・-0.5[4900K or 4600K]拡散板 2 本体 ① ×1
(右図は[4900K]拡散板 2) ①
- ・ W40° フィルター・LE ② ×1
- ・ 赤フィルター・LE ③ ×1
- ・ 使用説明書(本書) ×1
- ・ 各フィルター使用説明書 ×1



対応ストロボ

(2012年6月現在)

- ・ イン Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S、Z-220F、Z-220S、Z-220

対応調光方式

(2012年6月現在)

- ・ S-TTL 自動調光、TTL 自動調光、
マニュアル+TTL 自動調光、マニュアル調光
(外部自動調光モードにて使用する事は出来ません)

取り付け前の準備

- ・ 『W40° フィルター』 / 『赤フィルター・LE』を取り付ける【使用する場合のみ】

被写体や撮影時のシチュエーション、使用するカメラシステム、及びストロボの自動調光モード等によって、同梱の『W40° フィルター・LE』、あるいは『赤フィルター・LE』を、“拡散板 2 本体”へ取り付けます。詳細等は、各フィルター使用説明書をご確認下さい。

取り付け方法

- ・ ストロボ正面の“INON”ロゴ方向と、拡散板 2 本体の“INON”ロゴ方向とを合わせ、止め衤を締めて固定します。強く締め過ぎると、“拡散板 2 本体”、あるいはストロボ側の取付衤部が破損する可能性がありますので、ご注意下さい。
“拡散板 2 本体”がストロボ前面の“ゴムカバー”部『溝』から浮き上がらず、正しい位置に固定されている事をご確認下さい。

使用上の注意

マニュアル調光でご使用の場合

本製品を取り付けた場合、本製品を透過した実際の発光量は、ストロボ側“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”[Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000Sの場合]、あるいは“モードスイッチ”[Z-220F、Z-220S、Z-220の場合]にてセットした発光量より、-1/2EV.分(-0.5段分)弱くなります[-1/2EV.分(-0.5段分)暗い画像が得られます]。

Z-240の“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”の各スイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

メインモードスイッチ ポジション	EV.コントロールスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.24[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.24[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	(任意のポジション)	約 21	-0.5 EV.	約 1/1.4
M ^{0.5} ▼ ₄	11 (-0.5)	約 17	-1.0 EV.	約 1/2.0
-	-	約 14	-1.5 EV.	約 1/2.8
8	8	約 12	-2.0 EV.	約 1/4.0
-	-	約 10	-2.5 EV.	約 1/5.7
5.6	5.6	約 8.5	-3.0 EV.	約 1/8.0
-	-	約 7.1	-3.5 EV.	約 1/11
4	4	約 6.0	-4.0 EV.	約 1/16
-	-	約 5.0	-4.5 EV.	約 1/23
2.8	2.8	約 4.2	-5.0 EV.	約 1/32
-	-	約 3.6	-5.5 EV.	約 1/45
2	2	約 3.0	-6.0 EV.	約 1/64
-	(M-6)	約 2.5	-6.5 EV.	約 1/91

D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000Sの“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”の各スイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

メインモードスイッチ ポジション	EV.コントロールスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.20[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.20[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	(任意のポジション)	約 17	-0.5 EV.	約 1/1.4
M ^{0.5} ▼ ₄	11 (-0.5)	約 14	-1.0 EV.	約 1/2.0
-	-	約 12	-1.5 EV.	約 1/2.8
8	8	約 10	-2.0 EV.	約 1/4.0
-	-	約 8.4	-2.5 EV.	約 1/5.7
5.6	5.6	約 7.1	-3.0 EV.	約 1/8.0
-	-	約 5.9	-3.5 EV.	約 1/11
4	4	約 5.0	-4.0 EV.	約 1/16
-	-	約 4.2	-4.5 EV.	約 1/23
2.8	2.8	約 3.5	-5.0 EV.	約 1/32
-	-	約 3.0	-5.5 EV.	約 1/45
2	2	約 2.5	-6.0 EV.	約 1/64
-	(M-6)	約 2.1	-6.5 EV.	約 1/91

Z-220F/Z-220S/Z-220の“モードスイッチ”のスイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

モードスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.22[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.22[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	約 19	-0.5 EV.	約 1/1.4
-1/2	約 16	-1.0 EV.	約 1/2.0
-1	約 13	-1.5 EV.	約 1/2.8
-1 ^{1/2}	約 11	-2.0 EV.	約 1/4.0
-2	約 9.5	-2.5 EV.	約 1/5.7
-2 ^{1/2}	約 8.0	-3.0 EV.	約 1/8.0
-3	約 6.7	-3.5 EV.	約 1/11
-3 ^{1/2}	約 5.6	-4.0 EV.	約 1/16
-4	約 4.5	-4.5 EV.	約 1/23
-4 ^{1/2}	約 4.0	-5.0 EV.	約 1/32
-5	約 3.5	-5.5 EV.	約 1/45

その他、マニュアル調光時の注意点等につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

S-TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S]、

TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S、Z-220、Z-220S]、

マニュアル+TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn]でご使用の場合

本製品を取り付けた場合、S-TTL/TTL/マニュアル+TTL 自動調光可能な範囲は、本製品無しの場合に比べ、-1/2EV.分(-0.5段分)被写体側にシフトしますが、S-TTL/TTL/マニュアル+TTL 自動調光時に、本製品を透過した実際の発光量は、(各ストロボを単独で1灯使用し、さらに各ストロボの自動調光範囲内の発光を行う場合には)本製品を取り付けていない場合と変わりません。S-TTL/TTL/マニュアル+TTL自動調光、発光量補正、調光範囲の詳細につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

メンテナンスについて

- ご使用後は、必ずストロボから取り外し、真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かります)。
- 「塩噛み」や「電蝕」による本製品とストロボとの固着を防ぐ為、下図の通り、ストロボ側の取り付け部を定期的にガラスアプして下さい。

